

1 暴風警報・暴風雪警報、特別警報及び避難勧告・避難指示発令時の対応

	①登校前・在宅時	②登校途中	③在校中	④下校中
暴風警報・暴風雪警報発令時 (「名古屋市」に)	自宅待機とする。	原則としてそのまま登校する。その後については、「③在校中」に準じた対応。	「なごやっ子あんしんメール」等にて連絡を入れ、保護者の引き取りにより下校する。	そのまま下校し、その後については「①登校前・在宅時」に準じた対応。
特別警報発令時 (「名古屋市に」) 避難勧告・避難指示発令時 (「山田東中学校区内」に)	自宅待機、学校への避難など、ご家庭ごとの対応をお願いいたします。 ※防災ノートを活用	原則としてそのまま登校する。その後については、「③在校中」に準じた対応。	そのまま学校で待機する。 (引き取る場合も学校へ避難する場合も、速やかに学校へお越しください。)	そのまま下校し、その後については「①登校前・在宅時」に準じた対応。

2 上記の発令が解除された時の対応

- ① 午前6時まで解除された場合 …… いつものように分団登校し、通常通りの授業を行う。
- ② 午前6時から午前11時の間に解除された場合 …… 13:00に分団集合地に集合し登校後、午後の授業を行う。
- ③ 午前11時まで、解除されなかった場合 …… 当日の授業は行わず、臨時休業とする。

※ 教育委員会が前日に休校を決定した場合、平日・土日祝を問わず、前日の午前12時までに、教育委員会より「なごやっ子あんしんメール」と「教育委員会ホームページ」で休校についてお知らせします。(改訂版より追加)

3 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)発表時の対応

	①登校前・在宅時	②登校途中	③在校中	④下校中
南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)発表時	学校から連絡がない限り、通常通り登校する。	原則としてそのまま登校する。その後については、「③在校中」に準じた対応。	「なごやっ子あんしんメール」等にて連絡を入れる。状況によっては、保護者の引き取りにより下校する。	そのまま下校し、その後については「①登校前・在宅時」に準じた対応。

4 その他

- 大雨・洪水・高潮・大雪の各警報発令の場合は、原則、通常通り授業を行います。
- 上記の場合でも、天候や通学路の状況によっては、登校時刻を遅らせる、下校時刻を遅らせる、または、引き取りをお願いする場合もございますのでご承知おきください。その場合は「なごやっ子あんしんメール」等でお知らせします。
- 大規模地震が発生した場合は、電話連絡やメール配信が困難となることが予想されます。よって、児童が在校中、本地域に震度5弱以上の地震が発生した場合は、原則として学校に待機させます。保護者の方の引き取りが可能であれば、引き取りに来てください。

※ 裏面に特別警報の種類と発表基準を掲載いたしますのでご承知ください。

気象庁が発表する特別警報について

－特別警報の種類と発表基準－

★ 気象に関わる特別警報

現象の種類	基準案		過去の対象事例
大雨特別警報(浸水害)	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨と予想される場合。		平成 25 年台風第 18 号 (京都・滋賀・福井県)
大雨特別警報(土砂災害)			平成 24 年九州北部豪雨 (死者行方不明 32 人)
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	昭和 34 年伊勢湾台風 (死者行方不明 5000 人以上) 昭和 9 年室戸台風 (死者行方不明 3000 人以上)
高潮特別警報		高潮になると予想される場合	
波浪特別警報		高波になると予想される場合	
暴風雪特別警報	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
大雪特別警報	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		昭和 56 年豪雪 昭和 38 年 1 月豪雪

★ 津波に関する特別警報

現行の大津波警報【予想される津波の高さが高いところで 3 m を超える】を特別警報と位置付ける。

★ 地震動に関する特別警報

現行の緊急地震速報(警報)における震度 6 弱以上を予想したものを特別警報と位置付ける。

★ 火山に関する特別警報

名古屋市は非該当